



Weekly Report

2019 - 2020



ロータリーは
世界をつなぐ

2019-2020年度国際ロータリーのテーマ

会 長：西村利夫
幹 事：堀尾明史
会報委員長：魚住尚三

承認日：1984年1月30日
例会日：毎週水曜日
例会場：名鉄グランドホテル・CBC自動車学校

事務局：〒481-0004 北名古屋市鹿田坂巻5-1
TEL:0568(25)4701 FAX:0568(25)4702
mail : kita2a-owarichuo-rc@rhythm.ocn.ne.jp

職業奉仕月間

2020年1月15日 第1703回 例会

名鉄グランドホテル

司 会 会場委員長 宇田幸生

点 鐘 会長 西村利夫

唱 和 ソングリーダー 住川誠一

それこそロータリー

会長挨拶 会長 西村利夫



皆さんこんにちわ。今月は前回、運勢について話しましたが関連ある事で皆さんご存じかどうか分かりませんが2020年度で一番良い日はいつでしょう？

その日に事すると成就すると言われます。その日は今年一年で二日あります。最初に皆さんに言うかだまっていようかとも思いましたが(大笑)やはり同じRCの会員ですし、皆さんの会社も健康も大切ですからね。手帳をお持ちの方はご記入ください。今月1月22日水曜日です。二回目は6月20日土曜日です。この二日が最高に良い日です。大安とか仏滅だとかありますがやはり「大安」です。そしてもう一つ宝くじ売り場

などで「一粒万倍」と書いてあります。また、「天赦日」と覚えてください。ホテルの方もメモして下さいね。(笑)

この二日間のときに何か購入すると事叶うでしょう。

それから各地に「パワースポット」という場所があります。このスポットは色々な人が数多く集まる場所だから「パワースポット」と呼ぶそうです。もちろん天からの恵みがあるポイントでもあるからです。今年一番のスポットは「東京都渋谷区千駄ヶ谷 鳩森八幡神社」だそうです。なぜかというこの神社はオリンピックの国際競技場の近くにあるためです。出向かれたらお参りすると良いでしょう。私もオリンピックの開会、閉会式に行きますのでついでに鳩森八幡神社へ行こうと思っています。

続いて

①皆さんのラッキーカラー及びその算出方法について

そうしたラッキーカラーの物を身に着けるなどして運勢を味方して下さい。

②四国高野山 宝亀院での改名について

政界、財界、芸能界の方々も利用されます。将来の事が的中しますので世の中をバカにしないでがんばってください。

以上ありがとうございました。

幹事報告 幹事 堀尾明史

次週例会は、1月25日(土)3クラブ合同新年例会です。

会場：ホテルナゴヤキャッスル

16時30分受付、17時00分点鐘です。

出席報告 委員長 鬼頭光広

第1703回

会員数：33名 出席数：25名 出席率：83.3%

前々回修正出席率 80.6%

ニコボックス 委員長 田島 雄

西村君 職業奉仕委員長今村先生卓話よろしくお願ひします。

堀尾君 今村さん卓話よろしくお願ひします。

瀧本君 ご無沙汰しております。本年もよろしく。誕生日祝福ありがとうございます。

小久保君 家内の誕生日の御礼。ありがとうございます。

《第1703回例会 ニコボックス》

寄付会員数	4
本日の合計額	13,000円
本日までの累計額	1,038,000円

米山記念奨学金授与



西村会長と王悦さん

卓話

○職業奉仕委員会 今村委員長
「ロータリーの職業奉仕」について

※卓話の内容はHPでご覧いただけます



いつもご指導いただき誠にありがとうございます。職業奉仕委員会として今回卓話を担当させていただくのに際して、浅い知識と経験しかない未熟な私なりにこのテーマについて勉強してみました。地区職業奉仕委員会でも「職業奉仕とはいかなることをさすか」という内容はいつも議論されていて自分も分かりにくく思っていたのですが、和田典之パストガバナー補佐から親しくご指導をいただき、自分なりに一定の理解ができたような気がいたします。

そもそも今月号のロータリーの友に職業奉仕に関する記事が特集で掲載されていることをついさきほど平野さんにご指摘いただきました。難解な英文をそのまま和訳したものよりはるかに分かりやすい日本人の感性と筆致で書かれており理解の一助となるものと思われ、ぜひご一読いただきたいと思います。

スライドのように 1923 年の 23-34 決議というものが、大きい意味での社会奉仕に関する理論と実践を合わせたコンセプトとして広く認識されています。その中で強調されているのは、思いやりの心や寛容性が重要であり、これを地域で示すこと。このことを各人がそれぞれの職業に於いて実践すること。それを客観的行動でロータリー外の人々にも示しロータリーの理念を広めること。これらが大変重要とされています。

23-34 決議の中で私が特に銘記したいところは以下の通りです。

- ロータリーにおいて社会奉仕とは、ロータリアンのすべてがその個人生活、事業生活、および社会生活に奉仕の理念を適用することを奨励、育成することである。
- ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は奉仕―「超我の奉仕」の哲学であり、これは、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という実践的な倫理原則に基づくものである。
- まず第 1 に、奉仕の理論が職業および人生における成功と幸福の真の基礎であることを団体で学ぶこと。第 2 に、自分たちのあいだにおいても、また地域社会に対しても、その実際例を団体で示すこと。第 3 に、各人が個人としてこの理論をそれぞれの職業および日常生活において実践に移すこと。そして第 4 に、個人として、また団体としても大いにこの教えを説き、その実例を示すことによって、ロータリアンだけでなく、ロータリアン以外のすべての人々が、理論的にも実践的にも、これを受け入れるように励ますことである。
- 奉仕するものは行動しなければならない。従って、ロータリーとは単なる心構えのことをいうのではなく、また、ロータリーの哲学も単に主観的なものであってはならず、それを客観的な行動に表さなければならない。そして、ロータリアン個人もロータリークラブも、奉仕の理論を実践に移さなければならない。
- クラブがひと固まりとなって行動するだけで足りるような事業よりも、広くすべての

ロータリアンの個々の力を動員するもののほうがロータリーの精神によりかなっていると言える。それは、ロータリークラブでの社会奉仕活動は、ロータリークラブの会員に奉仕の訓練を施すために考えられたいわば研究室の実験としてのみこれを見るべきであるからである。

今思えば、私が入会させていただいた山下隆義パスト会長の年度で近江商人の故郷に家族会で連れて行っていただき、そこで「三方よし」の精神を学びました。これはすばらしいと直覚し、自院ではこの「売り手よし、買い手よし、世間よし」を「患者よし、医療者よし、地域よし」と改変して職員を啓蒙していますが、これこそ職業奉仕につながるものと思っております。そしてこれは来年度私が拝命しております「会員増強委員長」としての責務を行う際に自信をもって入会を勧める根拠になる考え方でもあります。

私がかねてから「奉仕」というとキリスト教徒にはなじむ言葉かもしれませんがどうも日本人にはなじみにくいと思っています。それを自分なりに解釈すると「おそらく職業奉仕とは、企業（個人）の社会的使命を自覚して実践すること」と感じました。そして職業奉仕というのは「分かる」ものではなく「肚に落ちて感じる」ものであると今では思えるようになりました。そして「利益を上げて税金おさめることこそが職業奉仕である」とよく言われますが、この「利益の上げ方」に社会的使命の要素が必要なのではないのでしょうか？

企業は「社会的使命」をもったかけがえのない社会の大切な歯車のひとつ、という認識をすれば、「ロータリー」という名前にもより誇りがもてるような気がします。

というわけで、本日お配りしたアンケートを埋めていただける範囲で構いませんのでお願いしたく存じます。期日までに事務局にFAXかメールでお戻しくくださるようお願いいたします。その上で次回の職業奉仕委員会でいただいているお時間で、ご提出いただいた方々にご自分の企業に関連したこのテーマをご発表いただきたく存じます。お忙しい中恐れ入りますが何卒よろしくお願いいたします。ご清聴誠にありがとうございました。